

業績ハイライト (単体)

2020年9月期

経常利益

80 億円

経常利益は、株式等関係損益の増加などから、前中間期に比べ10億円増加し、80億円となりました。

中間純利益

57 億円

中間純利益は、前中間期において特別利益に退職給付制度改定益を計上したことなどから、前中間期に比べ11億円減少し、57億円となりました。

総預金等 (平均残高)

5兆3,275 億円
※総預金+譲渡性預金

総貸出金 (平均残高)

3兆7,534 億円

自己資本比率 (国内基準)

10.22%

経営の健全性を示す自己資本比率は国内基準の4.00%を大きく上回っています。

不良債権比率

1.39%

健全な資産を維持しています。

格付け

A (安定的)
格付投資情報センター (R&I)

経営の健全性や信用力が評価されています。

株式情報 2020年9月30日現在

株主優待制度

当行では、日頃のご愛顧に感謝を込めて、株主さまのご優待制度を導入しています。

毎年3月末時点で1,000株以上を保有いただいている株主さまに三重県ゆかりの名産品を掲載したギフトカタログを毎年6月下旬に配当金関係書類とともにお送りしています。



●対象となる株主さま

毎年3月31日現在の当行株主名簿に記載された1,000株以上をお持ちの株主さま

●株主優待の内容

三重県ゆかりの名産品を掲載した「株主さまご優待ギフトカタログ」のなかから、保有株式数に応じてお好みの一品をお選びいただけます。

保有株式数	お選びいただける特産品
1,000株以上 5,000株未満	3,000円相当
5,000株以上	5,000円相当

株式の状況

発行する株式の総数	396,000千株	上場証券取引所	東京・名古屋
発行済株式の総数	254,119千株	証券コード	8368
株主数	13,870名		

株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中に開催
基準日	定時株主総会議決権：毎年3月31日現在の株主さま 期末配当金：3月31日現在の株主さまに対し、株主総会の決議によりお支払いします。 中間配当金：中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主さまに対しお支払いします。
公告方法	電子公告：当行ホームページ https://www.hyakugo.co.jp/ に掲示します。 ただし、電子公告ができない場合は日本経済新聞および伊勢新聞に掲載します。

株主名簿管理人
特別口座の
口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

お問い合わせ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

編集 / 株式会社百五銀行 経営企画部
三重県津市丸之内31番21号
電話 059-223-2326
(本店所在地：三重県津市岩田21番27号)
2020年12月発行
<https://www.hyakugo.co.jp/>



HYAKUGO BANK REPORT 2020

ミニディスクロージャー誌

2020年9月期 営業の中間ご報告

当行の概要 (2020年9月30日現在)

名称	株式会社百五銀行
創立	1878年(明治11年)11月19日
本店所在地	三重県津市岩田21番27号
代表者	取締役頭取 伊藤 歳恭
資本金	200億円
従業員数	2,441名



取締役頭取
伊藤 歳恭

平素は、百五銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。
でございます。

当行では、2019年4月から中期経営計画『KAI-KAKU150 1st STAGE「未来へのとびら」～デジタル&コンサルティングバンクをめざして～』に取り組んでおり、半分の期間が経過しました。概ね計画どおりに進捗しておりますが、社会情勢や環境変化などにより、計画変更を余儀なくされた施策もあります。

このような状況のなか、中期経営計画で掲げた“土台づくりの3年”を着実に実現していくことが、環境の変化に左右されない強靱な組織づくりにつながると考え、日々の業務に真摯に取り組んでおります。

また、コロナ禍で、これまでの常識が大きく変化した今だからこそ、さまざまな業務プロセスを抜本的に見直す機会にもなります。全役職員が知恵を出し合い、これまでの概念にとらわれない新たな発想を生み出すことにより、「KAI-KAKU」を加速させていくことをめざします。

厳しい経済環境が続いておりますが、地域の皆さまとともに発展していくために、グループの総力を挙げ、全役職員が一丸となって努力してまいりますので、一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

持続可能な社会の実現に向けての取り組み

百五銀行グループは、「SDGs」を企業行動・経営戦略につなげ本業を通じた地域の社会的課題の解決と経済発展の両立を図ることで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



TOPICS

地域経済の創造



事業承継・M&Aの取り組み

後継者への円滑な事業承継、M&Aを活用した企業の経営承継・成長戦略をサポートしています。

第2期 百五後継者育成塾の開講

百五銀行と百五総合研究所は、事業承継に必要な知識の習得、ネットワークづくりの場を提供するため、2020年10月から、2期目となる後継者育成塾を開講しました。お取引先の若手経営者、幹部候補などの方々を対象に、事業承継対策の必要性や対応策、経営者に求められるマネジメントについて、7か月間にわたり学んでいただきます。



M&Aオンラインセミナーの開催

新型コロナウイルスの影響により経済が激変するなか、2020年9月、ネクストノーマル時代に理解すべき企業経営のポイントなどを解説したセミナーをWEB形式にて開催しました。当日は400名近くの方にご視聴いただき、お取引先のM&Aに対する意識の高さを再認識しました。



地域社会の持続的発展



オール三重で三重県産品を応援！ 百五銀行 × 三重県

「三重県産品の購入で三重の逸品を総額100万円分あげますキャンペーン！」を実施

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている、観光事業者などの収入確保を支援するため、2020年5月から7月にかけて三重県と協力し、インターネット通販を利用して三重県産品の購入促進を図りました。県外からも多数の注文があり三重県産品のPRにもつながりました。



魅力ある街づくりをサポート

亀山駅周辺2ブロック地区第一種市街地再開発事業への融資取組

本事業は、公益施設、共同住宅および歩行者空間を含む道路などの整備により、安全で快適な都市環境の創出を目的としています。

当行は本事業のファイナンスアレンジャーに就任し、シンジケートローン方式による総額35億円の融資をとりまとめ、2020年3月に第1回の資金を融資いたしました。今後も亀山駅周辺を含めた地域全体の再生をめざし、本事業をサポートしていきます。



中期経営計画

2019年4月～2022年3月

3つの改革

収益構造改革

組織・人材改革

IT・デジタル改革

KAI-KAKU150 1st STAGE「未来へのとびら」～デジタル&コンサルティングバンクをめざして～

項目		2020年3月期 (実績)	2020年9月期 (実績)	2022年3月期 (中計最終目標)
収益性指標	当期(中間)純利益	113億円	57億円	100億円以上
資本効率指標	ROE(株主資本ベース)	4.41%	4.34%	3.7%以上
効率性指標	OHR(コア業務粗利益ベース)	75.67%	73.63%	79%未満
健全性指標	自己資本比率	10.07%	10.22%	9.5%以上
成長性指標	総預金平残(譲渡性預金含む)	5兆1,023億円	5兆3,275億円	5兆2,300億円以上
	総貸出金平残	3兆5,297億円	3兆7,534億円	3兆7,000億円以上
	預貸率(平残ベース)	69.2%	70.5%	70.8%以上